



# 柏の葉だより

<学校教育目標>

学ぶ楽しさを知り  
生きる喜びが分かる  
心身ともにたくましい生徒の育成

学校だより 2024 第9号

9月30日発行  
市川市立第五中学校  
校長 岡 良和

☆スマホで見やすいレイアウトに変更しました☆

## 全国学力・学習状況調査結果

今年度調査(3年生で4月実施)の結果が、公表されました。教科の正答率は表の通りです。

<中学校3年生 平均正答率(%)>

	五中	千葉県	全国
国語	○	57.1	58.1
数学	○	51.0	52.5

※市川市では、各学校の平均正答率を数値で公表しておりません。全国正答率(公立学校)と比較し、記号で表記しています。

◎:全国平均を5ポイント以上上回る

○:全国平均と同等または上回るが、5ポイントに満たない場合

### 調査の目的

義務教育の機会均等とその水準の維持向上の観点から、全国的な児童生徒の学力や学習状況を把握・分析し、教育施策の成果と課題を検証し、その改善を図るとともに、学校における児童生徒への教育指導の充実や学習状況の改善等に役立てる。

## 令和の日本型教育

『学習指導要領(学校の学習内容や学び方が、時代・社会情勢に即すように、文部科学省が示したもの)』が、現在のものに改訂されたのち、元号が令和に変わりました。

その後、学習指導要領が、各学校種で、段階的に全面実施されています。  
・令和二年:2020年から小学校  
・令和三年:2021年から中学校  
・令和四年:2022年から高等学校

変化が激しい自然環境や社会情勢に合わせ、学校で学んだことが、子ども達の今日の生活を豊かにし、将来の生きる力を支える学力となるように、全国の学校が、教育課程の工夫・改善を進めています。

また、高校入試問題・大学入試問題の内容も現在の学習指導要領に合わせて変化しています。

この流れに合わせ、文科省:中央教育審議会 2021年1月26日答申により、『令和の日本型教育』が告知されており、そのコンセプトを紹介します。

■全ての子ども達の可能性を引き出す  
■「個別最適な学び」「協働的な学び」の実現

■日本教育の「◎強み」と「▲弱み」を先進各国と比較

◎教育の平等性

▲子どもの多様化への対応

◎生活指導など学習以外の指導

▲教員の多忙化

◎諸外国から評価される教育技法

▲ICTの遅れ

■4つの柱

①「自立・協働・創造」できる人材育成

② 教職員の働き方改革

③ 1人1台タブレット・デジタル教材の活用

④ 新学習指導要領の実施

(▲教育課題 ☆方向性)

▲正解主義

☆ICT活用による個別最適な学び

▲過度の同調性・画一性

☆協働的な学び

▲小学校と中学校の分断

☆小中一貫教育推進

五中ブログにアップしている授業や行事の様子からも、『令和の日本型教育』をイメージしていただけたら幸いです。

## 10/11 城山祭において

生徒実行委員会が組織され、各学年・学級の合唱練習が、活気づいています。今週からは、音楽室、体育館の割り当て練習が始まります。

## 登下校の服装について、移行期間を設けています

今年度:10月1日(火)~11日(金)

五中では、熱中症予防対策として、6月から9月末日まで、ジャージ(体操服)による登下校を認めています。

また、制服で統一するまでの移行期間を設定し、気候に合わせて制服またはジャージ(体操服)を選べるようにしています。

なお、制服で統一する期間の「ブレザー着用」「ワイシャツ・ブラウスの半そで、長そで」等についても、原則として気候に合わせて調節するように指導しています。(詳しくは、五中ホームページ内『生徒心得』をご確認ください)

## 五中ホームページ 10万アクセス突破

ホームページにアクセスカウンターを今年の4月4日に付けてから約半年が経ちました。

9月23日には、合計10万アクセスを超え、一日平均アクセス数は、800/日に近づいています。また、6月学校評価アンケートでは、『五中ブログ』に好評価が集まりました。多くの方が、五中教育に関心を持ってくださっていることに感謝申し上げるとともに、「五中ブランド力向上」が進んでいると感じています。

[学校評価6月結果](#) (リンクあり)